



わかさ 議会だより

平成
26年
8
月号

第149号

P. 2~3	6月議会定例会
P. 3	国会陳情と調査研究について
P. 4~8	一般質問Q&A
P. 9	請願書・陳情書審査結果
P. 10	平成25年度議会基本条例の検証産業廃棄物投棄違反についての最終報告
P. 11	平成26年度 議会報告会日程
P. 12~13	委員会活動報告
P. 14	わたしの想い(松本さん、盛田さん)



議会事務局のアドレスへ



さあ、山頂までも
うひと踏ん張り!

目指せ山頂!



わかさ氷ノ山夏山開き

大勢の登山者とともに登山の安全を祈願する宮司。この日の氷ノ山は晴天に恵まれ、最高気温30度超え、登山には少々厳しいコンディションとなりましたが、小さな子ども達からご年配の方まで、この日のために県内外からおおよそ 1,000 人の登山客が訪れ、自然を満喫しました。

六月議会定例会

(仮称)

健康広場

整備事業本格始動！

平成26年第2回議会定例会は6月10日に招集され、町から提出された16議案と議員提出議案11議案を慎重に審議の結果、可決し6月13日に閉会した。

平成
26年度

一般会計総額

35億6059万円

9259万円を追加補正

専決処分の承認

■平成25年度若桜町一般会計補正予算(第6号)

特別交付税の増額等に伴い、2661万円を追加し、総額36億5746万円とするもの。

■平成25年度若桜町赤松団地造成事業特別会計補正予算(第1号)

不動産売却収入の減額と一般会計からの繰入で、383万円を減額し、総額679万円とするもの。

■若桜町税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、条例の一部改正するもの。

■若桜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、条例の一部改正するもの。

予算

■平成26年度一般会計補正予算(第1号)

主な歳入

国庫補助金

4218万円

県補助金

1732万円

繰越金

3200万円

主な歳出

臨時福祉給付金

2477万円

商工振興事業補助金

1360万円

総合行政システム委託料

438万円

有害鳥獣駆除対策

337万円

非常備消防費

230万円

■平成26年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

主な歳入

繰越金

2311万円

主な歳出

償還金及び還付加算金

1599万円

財政調整基金積立金

699万円

■平成26年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

主な歳入

繰越金

593万円

主な歳出

償還金返還金

593万円

■平成26年度若桜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

主な歳入

繰越金

3万円

主な歳出

予備費

1万円

納付金

2万円

■平成26年度若桜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

主な歳入

繰越金

145万円

主な歳出

予備費

145万円

条例

●若桜町税条例の一部改正について

●若桜町道の駅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

●若桜町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について

その他

●若桜町過疎地域自立促進計画の変更について

●財産の所得について

ロータリー除雪車一台を購入。

契約の相手方 三洋重機株式会社
取得金額 3218万円

人事

●若桜町農業委員会委員の推薦の件
農業委員会委員の任期満了に伴い、町長より議会へ推薦の依頼があり、二人の方を推薦した。

山本 昭子さん (栃原)

三島 玉恵さん (屋堂羅)

●若桜町固定資産評価審査委員会の委員の選任について
町長より左記の者を選任したいと申し出があり同意した。

町長より左記の者を選任したいと申し出があり同意した。

山下 一義さん (巻米)

●固定資産評価員の選任について
町長より左記の者を選任したいと申し出があり同意した。

町長より左記の者を選任したいと申し出があり同意した。

谷口 国彦さん (須澄)

特別委員会の設置

●公共交通調査特別委員会

委員長 川上 守

副委員長 小林 誠

●人口減少対策調査特別委員会

委員長 上川裕見子

副委員長 前住 孝行

議員提出議案

●地方財政の充実・強化を求める意見書

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

●手話言語法(仮称)の制定を求める意見書

●さらなる年金削減の中止を求める意見書

●少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

●参議院選挙制度改革における選挙区の「合区」案に反対する決議

●総務産業常任委員会の閉会中の調査研究について

●教育民生常任委員会の閉会中の調査研究について

第3回臨時会7月22日

●平成26年度若桜町一般会計補正予算

自然災害による事故の保障と庁舎内空調機器の修理のため補正。

48万円追加し、総額35億6107万円とした。

主な歳入

雑収入

主な支出

総務費

農林水産業費

予備費

48万円

15万円

64万円

△31万円

国会陳情と調査研究について

国会議員へ要望活動

平成26年7月9日に、若桜町議会10名で、地方交付税の確保を要望する内容で、要望活動を行いました。

要望書は、石破茂衆議院議員、赤沢亮正衆議院議員、舞立昇治参議院議員、仁比聡平参議院議員へ提出しました。なお、石破、赤沢両議員は不在でしたが、舞立、仁比両議員は在室しておられ、直接渡すことが出来ました。また、地方交付税、合併特例債の今後の考え方について、とても分かりやすく話していただきました。



舞立参議院議員へ要望書を提出

調査研究

平成26年7月10日・11日に予定していた、福島県南相馬市への震災についての調査研究は、台風接近に伴い、総務産業常任委員会と教育民生常任委員会ともに、中止になりました。



議員会館から見た国会議事堂

詳しくは

若桜町ホームページ→各課のご案内→議会事務局→会議録

6月議会定例会の一般質問は、6月11日に行われ、5人の議員が町政の課題について質問しました。質問の要旨と町長の答弁を要約して紹介します。



質問者

中尾 理明 議員
山根 政彦 議員
前住 孝行 議員
上川裕見子 議員
小林 誠 議員



中尾 理明 議員

医師確保

若桜の医療を担う後継者対策は？

地域医療連携を強める

Q 若桜の医療を担う後継医師確保について、三年前も町長の決意を伺いましたが、その後今日まで、どのように対応されていますか。

小林昌司町長

A 平成24年度に町健康体力づくり推進協議会を設置、25年度には社会福祉大会で守山先生による町の地域医療に関する発表等実施しました。また、今年3月には、鳥取市、

智頭町、岩美町で組織されている「鳥取県東中部における地域医療推進協議会」に参画し、医師確保等地域医療連携の検討を始めているところです。

Q 町民は若桜が無医村にならないかと心配しています。無医村、奥部で地域医療にあたりたいという医師や学生を探し、繋がりをつけることが大事だと思っています。今後さらに後継医師対策を強める必要があると思います。が、重ねて伺います。

A 自治医大卒の医師は公立医療機関勤務が条件で、県にも強く要望していますが、現状では民間の推進協議会に公的病院のない若桜町が唯一入らせてもらい、町の実情を訴え、お願いをしています。鳥取市立病院がセン

小林町長

ターで、将来は医療が困難な町には、医師を送ることも、考えたいとのこととです。また、若手医師確保に対し、どのような支援ができるか相談、検討していきたいと思っています。

Q 若桜の保健医療を考える集いが7月6日行われますが、当日の内容の詳細と、この企画に対する町長の思いを伺います。

小林町長

A 若桜に関係する医者になっておられる若い方々に若桜町を身近に感じて頂くため、若桜の地域医療をわかって頂く必要があること、すぐには来てもらえないとしても、今から私たちが若い先生と関わりを持つと、若桜の保健医療を考える集いを計画させて頂きました。守山先生をコーディネーター、戸杉先生、尾坂先生、丹比の柿坂先生をパネラーに、地域医療をみんなで話し合ってもらおうと思っています。

住宅リフォーム

改めて構築を？

来年度に向け、調査研究、検討する

Q アベノミクスといわれますが、多くの中小零細企業は一段と大変になっていますし、町民の多くは消費税引き上げ後の消費を控えているのが現状です。住宅全面リフォームは勿論、屋根換え、壁、畳、襖、ガラス戸などの部分改修に対する助成制度により、町民の住宅改修への後押しをすることが大事です。町民の生活環境の改善整備はまちづくりに直接に繋がるものであり、かつ極めて重要な定住対策ではないかと考えます。多寡は別として、事業費の一部軽減となり、町の緊急経済対策ともなり得るものです。関係業者の皆さんにとっては仕事づくり、営業に寄与し関連する雇用の可能性も期待されます。県内外で大きな評価を受け経済波及効果も高い住宅リフォーム制度を急いで構築すべきと考えますが、所見を伺います。

小林町長

A 若桜町では一連の町民向け住宅改修等の関係事業に対し、目的に応じた補助、利子補給を行っています。しかし、いずれも建築等の業者施工で行っているのが現実で、特に町産材利用促進事業費補助金は、利活用されていないのが現実です。また、現行制度に乗らない小規模な改修も考えられます。高齢の大口さんの調査はしていませんが、高齢者に対する施政方針に示した通り、元気な内は仕事が生計への張りになり健康にも繋がります。新年度に向け調査研究、検討したいと考えます。

その他「農政改革」について質問を行いました。



保健医療を考える集い(次世代医師語る)



一般質問 A



山根 政彦 議員

景観まちづくり

景観まちづくりの事業計画を

町民が核となって進めて
いきたい

Q 景観まちづくり事業を進めていくうえで、宿全体の青写真が見えてきません。全体像を示していただきたい。

小林昌司町長

A 議員の皆さんや観光協会、商工会、若桜宿景観まちづくり協議会、宿のみなさんとも話し合いをして計画を煮詰めるべきではないかと思っています。

Q 観光客が周遊できるコースにするためにトイレがある休憩場所、駐車スペースを蔵通り、カ

リヤ通り一帯に作ることはできないのか伺います。

小林町長

A 観光客の休憩場所やトイレ、駐車スペースの確保につきましては、若桜駅前やカリヤ、情報館前などの一定の整備ができています。休憩所につきましては今年度改修を予定している旧中尾邸で民芸品の展示と併せて休憩スペースも整備するよう計画しています。

Q 町民主役の町づくりの観点から「若桜宿景観まちづくり協議会」との連携を図るべきではないか伺います。

小林町長

A 町としても協議会の活動を支援させていただくとともに、貴重な意見をいただきながら一緒に進めたいと考えています。

役場機構改革

移住定住施策の
一体化は
関係課の連携を
密にする



若桜宿の町並み

Q 町長3期目が本格的に動き出して2ヶ月が経過しましたが、現在の機構についてどのように感じておられるか伺います。

小林町長

A 今年は、氷ノ山グリーンエコリゾート推進係を設置したところでもございますが、今後も本町の現状と課題をしっかりと見据えて必要に応じて機構改革も行つてまいります。現時点では今の機構で業務を推進してお

りますけれども、これがベストとは思っておりません。これからもしっかり考えていきたいと思っています。

Q 移住定住施策を推進する上で、すべて一つにいかないまでも、空き家再生、おためし住宅、赤松団地分譲住宅施策などは、一体化できないか伺います。

小林町長

A 小さな行政組織ではどんな職員を増やすこともできませんし、一つの課に業務を集中させると一つの課が大きく膨らむことになります。本町の現状を踏まえれば現在の体制の中で各課同士が共通認識し、連携を図りながら業務を行うことが最善の方法であると考えています。

Q 移住定住専門員の活動状況をお伺いします。

小林町長

A 空き家の継続調査を行い、最新の情報把握に努め、空き家所有者へのアプローチを進めており

ます。また、移住定住希望者への相談対応や主に関西方面で開催される移住相談会への参加など幅広い活動を行っております。

Q 町全体で「来ていただくという体制」はできているのか伺います。

小林町長

A 町職員をはじめ、各団体の接遇研修もされており、町全体で来ている体制づくりができつつあると思っています。

Q 観光施策を推進するためには、観光部門を独立した課にすべきではないか伺います。

小林町長

A 本町のような行政規模では難しく、平成23年度から観光協会に対する支援を増額して行政ではなかなかできないことをフットワークの軽い観光協会と連携を密にして取り組む考え方で進めています。

Q 一般質問 A



前住 孝行 議員

耕作放棄地対策

後継者育成のための町独自の支援策は

頭から金を出すのではなく、
今まで通り別の形の支援で

Q 平成24年6月定例会の前期坂本議員の一般質問で、町長の答弁に、「後継者育成のために若い農業者の支援をしていきたい」という答弁がありました。その良い施策として、新規就農給付金事業があります。45歳以下の就農者にとって、とても良い施策で、なんとかこの対象者が増えるようにならないかと考えます。この事業の対象となるには、本人からの申請があっただけなのか、お尋ねします。

小林昌司町長

A この事業は本人の意思によって問い合わせがあれば、県と連携して計画書作成等の支援をしています。町としては、特段の対象者選定等は行っていないですが、県や農協からの情報や利用権設定の申請状況などの独自情報を基に該当になりそうな方に制度の啓発を行っています。

Q 若桜町にとって、農業後継者育成は、重要な課題だと思っています。そこで、これは国の給付金ということですが、若桜町独自で、似たような施策というのはできないのでしょうか。

A 若桜町にあって、農業後継者育成は、重要な課題だと思っています。そこで、これは国の給付金ということですが、若桜町独自で、似たような施策というのはできないのでしょうか。

小林町長

A こういうものを簡単に、「はい。」というわけにはいかないわけで、国がなぜこんなに厳しくしているかということとは、

150万円出すわけですから、そこはご理解をいただきたいと思っています。その他にも農業をされるなら、頭から金を給付するというわけではなく、農業の一部を支援していく。例えば農機具の一部支援とか、いろいろな国の制度、県制度もありますから、そういう面で支援していく方が良いではないかと思っています。

Q また、町長の答弁の中に、「遊休農地をなくすために農業専門員を設置して、関係団体と連携しながら農業振興を図っていききたい。」というやり取りがありました。農業専門員を置かれたの効果を伺います。

A この間、専門的な知識や人脈を活かしつつ農家や集落への指導助言等を行っています。そうした中で集落営農組織アグリ内町の設立、認定農業者の六次産業化の事業推進、夏イチゴ栽培等の現地指導、新規就農者や農家からの相談等に関わっ

小林町長

ています。JAさんとも営農指導についても連携を取ってしまして、JAと町との垣根はなくなってきています。また、本年度からは鳥獣被害対策としてのイノシシ等の侵入柵の補助金も行っています。迅速な対応により農家の方々からも喜ばれています。



零細農家での米づくり

ダー育成、研修会などはされているのでしょうか。

小林町長

A 若桜町のような中山間地域で零細農家の多い所では集落営農が農地維持のためには最適だと考えます。そこで集落・集団営農につきましては、町や農協が一緒になって推進しているところであり、メリットはあってもデメリットはないと考えます。

農地の状況や農家の営農形態も様々で、個別案件での研修や指導助言の充実にも今後努めたいと考えます。集落営農に対する啓発や育成については、集落の代表に呼びかけて研修会の案内等を行っています。

また、農協では毎年営農座談会や農事実行組合長会などで意見交換や指導が行われ、必要に応じて専門員による指導も行っています。町も農業専門員が、集落営農に取組もうとされる集落と県や農協と連携しつつ、集中的に指導助言を行っていくこととしています。

集落営農

啓発はなされているのか
町も関係団体も
推進している

Q 集落営農、集団営農のメリット、デメリットを明らかにしながら、啓発や組織づくりのリー

Q 一般質問 A



上川 裕見子 議員

給食センター

新設した生ごみ処理機の有効活用は

液肥の無償譲渡ができるよう手続き中

Q センター新築と同時に導入された生ごみ処理機の減量効果をお尋ねします。

A 1日のごみ排出量は旧、新センター共に約15kgと差はなく、処理機には1日平均10kg投入して液肥化しており、年間約1,900kgのごみ減量化が図れます。

Q 導入した生ごみ処理機の1日あたりの処理能力はいくらですか。

A 山口教育委員会事務局次長 1日あたり最高35kgです。

Q まだまだ余力がありますが、こども園の生ごみも運び一緒に減量を図っていきませんか。

A 小林町長 運搬経費などの調査研究をしてみなくてはなりませんと言えない。



処理能力に余力あり 給食センター生ごみ処理機

Q 能力があるのに使わないでいるよりは使えるように各課が連携して取

組んでいただきたい。また、出来た純度の高い液肥は、どのように活用されていますか。

小林立町長

A 現在、利活用の実績はありません。この液肥は特殊肥料に分類されるため、肥料取締法に基づき県知事に届け出する準備を進めており、許可を待って譲渡できるよう考えています。

Q ペットボトルに入れて配ってみてはいかがですか。

小林立町長

A 農協ともお話をさせていただきたい。

Q このシステムは環境教育や食育の教材として活用が可能と考えますが、若桜学園での教育的活用はされていますか。

高木教育長

A 学級園の肥料として、本年度からの活用を計画しています。

また、環境教育の観点

からも有効であると考えています。

Q 固形物が残らずに全てが液体となり、不用なときは下水に流せるシステムは便利。他施設への導入や町独自の回収方法の確立など、ごみの減量に向けた発展的なお考えはありませんか。

小林立町長

A 効果の実証結果を踏まえ、他施設への導入の検討はしてみたい。

美術品、收藏品

貸出しに向けた進捗状況は
本年4月から
運用開始

Q 個別台帳等を整備し公共施設等への貸出しを順次行いたいとの教育長答弁から約半年経ちまし

たが、進捗状況をお尋ねします。

高木教育長

A 全ての収蔵品548点の個票整備にはもう少し時間がかかると思いますが、今年3月に貸出要綱を制定し、4月から運用を開始しています。

Q 氷太くんの体育館のエントランスに飾られている絵が不評。絵の交換を考えてはどうですか。

小林立町長

A 幻想的な雰囲気のある絵で、見る人によって暗いイメージを持たれるかもしれませんが、良い印象を持たれないお客さまがあるなら氷太くんと協議の上絵の交換も検討してみたい。

収蔵品基本台帳(美術品)	
収蔵品番号	種別
資料名または題名	著者・日本画(国絵)
第五回新築記念館開館記念品	種別
製作者	大島保雄氏 岩崎町事業所出身 日本画家
購入方法	寄贈 寄託 購入 制作 その他()
購入年月日	昭和 平成 年 月 日
価格(円) 寄附金 円	備考
管理(責任)者氏名	
所蔵・展示場所	
たくみの館 収蔵庫	
写真	

公共施設等への貸出しが可能になった教育委員会の収蔵品

Q一般質問 A

若桜鉄道

若桜鉄道を核としたまちづくりを

議員皆様と一緒に 目的達成へ

Q 若桜鉄道が、上下分離になって5年経ちました。少子高齢化による人口の減少は厳しく、年々旅客収入も減り、24・25年と赤字決算となつていきます。そうした中、来年4月八頭町では、中学校統合でバス通学が、検討されていると言うことで、若桜鉄道の経営状況、八頭町中学校のバス通学の現在の状況について、お尋ねします。

000万円の赤字となつていきます。運転手の育成費、燃料、修繕費等の経費増が原因です。スクールバス通学となれば、100万円程度の収入減となります。また公共交通としての意識が薄れて行くことが懸念されます。

Q 若桜鉄道にとつて、益々厳しい状況が考えられますが、若桜町にとつて今後、元氣なまちづくりを目指すために、夢の描ける大きな財産だと考えています。SL、客車の導入等、人一倍若桜鉄道に対する想いがあると考えますが、今後若桜町として、どのように若桜鉄道にかかわり存続していくのか、お尋ねします。

小林昌司町長
A 21年から上下分離方式を導入し3年間は黒字経営でしたが、24年度470万円、25年度1、



小林 誠 議員

A 若桜鉄道は地域公共交通の生活インフラとして、また若桜町の観光資源としてかかすことのできないものです。若桜鉄

小林町長

道を守っていくことが地域全体の活性化にも繋がります。沿線人口が減少していく中、観光客など交流人口を増やすため、さまざまな取組みを行い若桜鉄道と沿線地域の活性化のため積極的に頑張っています。



さくら祭り

Q 若桜町が主体となつて、若桜鉄道に色々な考え方で、取組むべきと考えます。若桜鉄道に観光列車は、最高の仕掛けだと思えます。全国に若桜町の名前を認知させる、観光列車が走ることで、観光目的ではなく、若桜町が色々な形で元氣になるための、大きな起爆剤と考えます。若桜鉄道にSL、DLが走れば、観光の一

級品だと思えます。必ず町が元氣になるくらい、観光客は来ます。若桜鉄道を、将来に繋げるためにも、夢の持てる町づくりのために、5年・10年先を議論する場を考えたいと思いますが町長の考えを、お尋ねします。

小林町長

A 若桜鉄道に観光列車を走らせることについては、私も大いに願っています。しかし若桜鉄道の経営状況、八頭町との連携も必要です。当然沿線、地域の方々のご理解も必要です。若桜鉄道を生かした観光は、真剣に議論したいと思っています。この町に若桜鉄道がなかったら、町はあつと言う間に寂れていくと思っています。

Q 若桜鉄道を核として駅周辺にも町の所有地、中ノ島公園隣の河川などを活用して、土曜祭日、春夏休み子ども達の休みの日には、若桜に行けば毎日何かのイベントが開催されている。そしてそこには、沢山の町民の方々がもてなし、物作りと生き生きと頑張っている姿が想像されます。

2040年には若桜町の人口1,700人と、余りにも寂しい状況ではありません。今私達は、将来明るい町に繋げる大きな責任があると思いますが、町長の将来に向けたまちづくりの考えを、お尋ねします。

小林町長

A 若桜鉄道は若桜町の観光資源として欠かすことのできないものと認識しております。この5月八頭町吉田町長ともお互い知恵をだそうと話しています。観光客や若者を引き付けるまちづくりを進めます。将来SL、DL運行も考えています。議員皆様のお力もお貸しください。



トロッコ

請願書・陳情書審査結果

6月議会定例会において各委員会に付託した陳情は、慎重な審査の結果、次のとおり決定しました。

番 号	受理年月日	件 名	陳情者等	付託委員会名	審査結果
請 願 第 3 号	平成26年 2月17日	「特定秘密の保護に関する法律」 (秘密保護法)の廃止を求める 請願書	憲法改悪反対鳥取県共同 センター 代 表 田中 暁 紹介議員 中尾 理明	総務産業 常任委員会	不 採 択
陳 情 第 4 号	5月23日	ウイルス性肝炎患者に対する医 療費助成の拡充を求める意見書 の提出に関する陳情	山本 雅和	教育民生 常任委員会	採 択
陳 情 第 5 号	5月9日	八東川の河床整備に関する 陳情書	小船自治会長 木嶋 廣壽	教育民生 常任委員会	採 択
陳 情 第 6 号	5月9日	林道の格上げに関する陳情書	小船自治会長 木嶋 廣壽	総務産業 常任委員会	採 択
請 願 第 7 号	5月26日	「海外で戦争する国」にする集 団的自衛権の行使容認に反対す る意見書の提出を求める請願	鳥取県憲法会議 代 表 浜田 章作 紹介議員 中尾 理明	総務産業 常任委員会	継 続 審 査
陳 情 第 8 号	5月26日	「手話言語法」制定を求める意 見書の提出を求める陳情につ いて	公益社団法人 鳥取県聴覚 障害者協会 理 事 長 荻原 耕三	教育民生 常任委員会	採 択
請 願 第 9 号	5月27日	さらなる年金削減の中止を求め る請願	全日本年金者組合 鳥取県支部 支 部 長 市谷 尚三 紹介議員 中尾 理明	教育民生 常任委員会	採 択
請 願 第 10 号	5月27日	「介護・医療総合確保法案」の 撤回を求める請願	全日本年金者組合 鳥取県支部 支 部 長 市谷 尚三 紹介議員 中尾 理明	教育民生 常任委員会	不 採 択
陳 情 第 11 号	5月30日	少人数学級の推進と義務教育費 国庫負担制度2分の1復元をは かるための、2015年度政府予 算に係る意見書採択を求める陳 情書	鳥取県教職員組合 東部支部 支 部 長 棚田 厚 鳥取県高等学校教職員組合 東部支部 支 部 長 松本 憲幸	教育民生 常任委員会	採 択
陳 情 第 12 号	5月30日	地方財政の充実・強化を求める 陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 本川 博孝 若桜町職員労働組合 執行委員長 下石 裕美	総務産業 常任委員会	採 択
請 願 第 13 号	6月2日	日本軍「慰安婦」問題への誠実 な対応を求める請願	新日本婦人の会 鳥取県本部 会 長 山内 淳子 紹介議員 中尾 理明	教育民生 常任委員会	採 択 (本会議で 不採択)

請願 陳情

請願・陳情は、町民の皆様が町政などについての要望等を、直接議会に書面で提出できる制度です。議長宛に議会事務局へ提出してください。提出された請願・陳情は関係の常任委員会で審査の上、本会議で採決し、採択された請願・陳情は行政に生かされます。詳しくは、議会事務局（☎82-2212）にお問い合わせください。

平成25年度

議会基本条例の検証

議会基本条例に基づき、平成25年度の議会及び議会議員活動の実績について検証しましたので概要を報告します。

1 検証方法

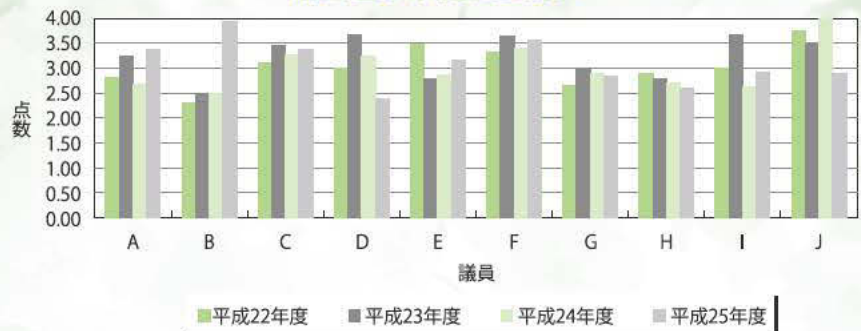
議会基本条例の各条項を 32 問に設定し、議員個々が次の 5 段階で評価を行いました。

- 5：成果があった。 4：少し成果があった。
3：いままでどおりだった。 2：あまり成果がなかった。
1：成果がなかった。（前年度と同じ検証方法）

2 検証結果

各議員の評価点は、平均 3.11 点。
（平成 22 年度は 3.03 点。
平成 23 年度は 3.21 点。
平成 24 年度は 3.02 点）

議会基本条例検証結果



3 まとめ

議会報告会を行い、4年が経ちましたが、各集落から出される意見・要望は一樣に大きなものは、出つくした感じを受けています。要望については、各集落特有のものが多くなってきています。

検証での各議員の自己評価は、前年よりポイントが上向いた議員が6人、下がった議員が4人となっています。

平成 25 年度議会報告会の報告は、各集落から出された意見・要望を全て掲載しており、議員間の議論が少なかったと感じている。十分な議論の中で大事なものを、政策として提案すべきと感じました。

今後、議会報告会の開催内容については、議員間の協議を経て見直しも必要かと考えます。



高原ノ宿氷太くん、 産業廃棄物投棄違反 についての最終報告

氷ノ山公共施設調査特別委員会で報告を受けてきた氷太くんの産業廃棄物問題について、最終報告が出たので掲載します。

敷地内に穴を掘り、グリストラップ汚泥を投棄しようとしたこと、支柱、木くずを埋めたことは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に違反する極めて不適切な行為であり、厳重に注意がなされた。

また、今後このような事態が発生しないよう、法律順守を徹底するとともに、提出のあった改善計画に基づき、産業廃棄物の適正処理を行う指示があった。

平成26年度 議会報告会日程

若桜町議会基本条例に基づき、町政に関する情報の提供に努め、議会に対する意見、町政に対する提言など、議員と町民が自由に情報交換、意見交換するために、次の日程で「議会報告会」を開催します。なお、日程を変更される場合は議会事務局（☎82-2212）までご連絡ください。



川上議長

私たちが担当です



上川 裕見子

1班

集 落 名	月 日	曜日	時 間	場 所
新 町	10月27日	月	午後7:00～9:00	新町公民館
中 町	10月28日	火	〃	中町公民館
農 人 町	10月29日	水	〃	農人町公民館
高 野	10月30日	木	〃	高野老人憩いの家
屋堂羅・口屋堂羅	10月31日	金	〃	屋堂羅相撲館
内 町	11月6日	木	〃	内町公民館
諸 鹿	11月7日	金	〃	諸鹿公民館
湯 原	11月10日	月	〃	湯原公民館
大 炊	11月11日	火	〃	大炊公民館
根 安	11月12日	水	〃	根安公民館
吉 川	11月13日	木	〃	吉川公民館
加 地	11月14日	金	〃	加地公民館
落 折	11月17日	月	〃	落折公民館

私たちが担当です



中尾 理明

2班

集 落 名	月 日	曜日	時 間	場 所
山 田 町	10月27日	月	午後7:00～9:00	山田町公民館
下 町	10月28日	火	〃	下町公民館
三 倉	10月29日	水	〃	三倉公民館
浅 井	10月30日	木	〃	浅井公民館
寺 所・馬 場	10月31日	金	〃	馬場公民館
赤 松	11月6日	木	〃	赤松公民館
香 田	11月7日	金	〃	香田公民館
淵見・茗荷谷	11月10日	月	〃	淵見公民館
岸 野	11月11日	火	〃	岸野公民館
須 澄	11月12日	水	〃	須澄公民館
栃 原	11月13日	木	〃	栃原公民館
大 野	11月14日	金	〃	大野公民館

私たちが担当です



山本 晴隆

3班

集 落 名	月 日	曜日	時 間	場 所
上 町	10月27日	月	午後7:00～9:00	上町公民館
西 町	10月28日	火	〃	西町公民館
上 高 野	10月29日	水	〃	上高野公民館
若 葉 団 地	10月30日	木	〃	若葉団地集会所
あかまつ団地	10月31日	金	〃	あかまつ団地公民館
来 見 野	11月6日	木	〃	来見野公民館
長 砂	11月7日	金	〃	長砂公民館
眷 米	11月10日	月	〃	眷米公民館
糸 白 見	11月11日	火	〃	糸白見公民館
岩 屋 堂	11月12日	水	〃	岩屋堂公民館
中 原	11月13日	木	〃	中原公民館
小 船・久 曾 木	11月14日	金	〃	小船公民館

(注) この日程は、集落によっては変更がある場合もあります。



岡田 一弥



青木 一憲



小林 誠



山根 政彦



前住 孝行



山本 安雄

活 動 報 告

教育民生 常任委員会

平成26年
4月11日

所管施設の調査

調査先

自立支援ハウス・寄宿舍・ストックヤード予定地・ゆはら温泉・町営住宅（若葉団地）・おためし住宅（赤松団地）・わかさ温水プール・（仮称）健康広場・わかさこども園・交流センター（旧高野隣保館）・たくみの館・池田分館・旧池田小学校プール

指摘事項

- 自立支援ハウス・寄宿舍**……管理が行き届いていなかったもので、目的に沿った施設になるよう管理を徹底されたい。
- ゆはら温泉**……レジオネラ菌の原因究明とその対策を行い、利用促進を図られたい。
- わかさこども園**……園門の「若桜町立若桜保育所」プレートを早急に外すべき。
- たくみの館**……若桜町森林公園看板の管理をされたい。

5月12日

閉会中の継続審査

教育委員会（仮称）健康広場

説明 現在測量中で、5月末に概算事業費完成、7月末に詳細設計、9月中に工事発注、11月頃に芝生植生する予定。グランドゴルフコースを2面取り、1面は起伏のある公認コース、もう1面は平坦のコース、外周はクッション材を使ったトラックを考えている。鹿防止柵は、砂防工事との関連で、県土整備と協議したい。

Q 一方通行解除はならないか。

A 検討したが、入口の狭さを訴える声が多いのでそちらを重視する。

Q こども園前の駐車場は、道路側にならないか。

A 概算設計完成後検討する。

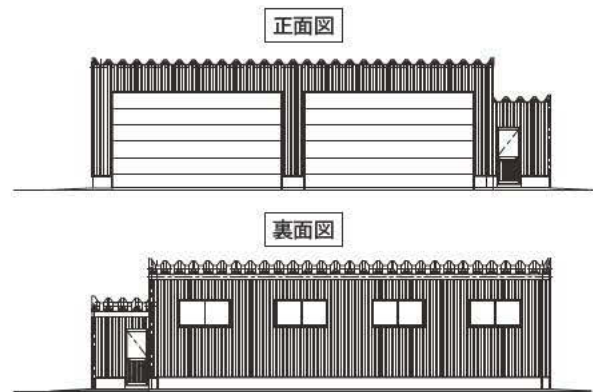
Q 防災用東屋・椅子を使えないか。

A 総務課とも協議する。

町民福祉課 スtockヤード

説明 従来の収集品に加え、服・布類・大型可燃ゴミ・小型家電を集めたいと思っている。

意見 常時受け入れるか、曜日指定して受け入れるか、また、管理も試行期間を設けて実施。大型可燃、衣類・布団なども有料にするかを試行調査から検討しては。



ストックヤード イメージ図

6月3日

6月定例会提出議案審査・所管施設の調査について

6月定例会提出議案審査

教育委員会、町民福祉課、町土整備課と慎重に審議した。

所管施設の調査

調査先

簡易水道、下水道、農業集落排水各施設

●まとめ●

現地での詳細な説明があり、委員全員がすべての施設の内容が良く理解できた。特に印象的だったのは、八東川に廃水される処理水がとてもきれいであり、文化の町わかさの一面を認識することとなった。



若桜下水道浄化センター

委員会

総務産業 常任委員会

平成26年
4月15日

所管施設の調査

調査先

庁舎内（放送室・防災指令室他）・第4分団消防車・職員官舎・防災備蓄倉庫・防災電源施設・若桜鉄道・スノーピア・氷太くん・キャンプ場・道の駅・味工房・29工房・若桜木材共同組合・親水公園の調査

指摘事項

- 若桜鉄道……構内上手の町有地は、有効活用を検討されたい。
- 樹氷スノーピアスキー場……管理棟は地盤沈下による傾きが進んでおり、早急に対策を講じられたい。
- 氷ノ山キャンプ場……利用者のニーズに合わないバンガローの維持については検討の必要がある。多目的広場は、有効活用の検討が必要である。
- 道の駅……駐車場内での接触事故が多発している、原因の究明と対策を講じられたい。
- 庁舎内放送室他……IP電話・防災無線の放送室は、住民の安全、安心を守る施設であり、庁舎の耐震工事の際に設置場所も含め検討が必要である。
- 危険区域表示看板……急傾斜地崩壊危険箇所を設置されている看板には、避難場所が記載されていないので明記されたい。

5月19日

所管課との協議

企画財政課

説明 若桜鉄道の経営状況、八頭町が通学方法を変更した場合、鉄道への影響と連携について説明。

Q 平成27年度から八頭町は、中央中学校に統合後、通学方法がバス通学になった場合、若桜鉄道への影響はどれくらいか。

A 丹比から安部までの生徒が郡家まで通学すると、年間1,100万円位の収入になる予定です。

意見 中央中学校の通学問題は、両町の情報交換が必要

産業観光課

説明 29工房の運営と今後の考え方の説明（農林振興に管理運営委託）

Q 29工房の中で獣肉の加工ができるようにならないのか。

A 軌道に乗ったら加工場も考えたいです。

意見 農林振興に指定管理委託する上で経営状況の把握をしてほしい。

6月4日

6月定例会に向けて

産業観光課

Q 駅前通りに出来るカリヤ横丁（仮称）はどのようなものなのか。

A 駅前のクーポン店会があったところの店舗をカリヤ風に、商工会が改修、運営するものです。



カリヤ横丁（仮称）イメージ図

Q 木質バイオマス資源活用事業の進捗状況はどうか。（氷太くんバイオマスボイラー導入計画）

A 現在、起工の準備中です。ボイラーの製作は、半年以上もかかる状況で、先にボイラーの選定を行い、発注をかけないと年度内に終わらない状況です。当初は雪が降るまでを予定していたが、ボイラーを決めないと計画が進まない状況です。

わたしの想い



このコーナーでは、議会、議員や議会だより等に関わる町民の皆さんからの御要望や率直なご意見を紹介いたします。



夢の持てる町へ

松本 宏思さん
(農人町)

今の若桜町の現状をよしとする人は少ないと思います。

年々衰退していく現状は、誰の目にもあきらかです。

町長さんをはじめ皆さんが頑張っておられ、様々な試みが成されていることは、十分承知しておりますし、それなりの成果も上がっているのだと思います。

しかし、私には、若桜町の将来の姿が見えてきません。30年後、50年後、100年後にどんな町になっているのでしょうか？

若桜という町が存在しているのでしょうか？

極端な発想かもしれませんが、全く新しい若桜という町を創造していく覚悟が無ければ、50年後100年後に若桜は存在していないような気がします。

今までの固定観念にとらわれること無く、山の利用法・川の利用法・街並みのあり方・産業のあり方・子育て教育のあり方・高齢者の方の生活のあり方等々、勿論、行政のあり方、議会のあり方、総てにわたって、若桜として目指すべき理想の姿を掲げ、そこに向かって町の内外、官民総ての力を有効に使って進んでゆく環境創りを、お願いしたいと思います。

理想の無い政治は政治ではありません。ビジョンの無い組織は存在し得ないのです。

出来ない理由を探す前に、いかにしたら出来るかを考え行動する。

暮らしていて将来に希望の持てる、夢のある町を創って頂きたいと願っております。

ドリーミーつれづれ草

盛田 政義さん
(三倉)

毎週一度、送迎車がドリーミーから私を迎えてくれています。親切なスタッフさんと楽しく過ごします。又、在宅時には食事や身の回りの世話もしてもらい、とても助かっています。社会情勢については、米軍の低空飛行についての抗議集会に参加してみて、入院中の患者さんには、とても迷惑なことだろうと感じています。若桜町民の一人として大きな問題を抱え込んだと思います。人間は弱い存在ですが、杉の木は無限の生命力を秘めています。未生林は誰が植えたものでもないにもかかわらず、石積みの石をも砕き自然と育つのです。我々弱い人間も見習いたいものです。

木の香り 命のいぶき 耳をすませば
こだまの歌がきこえてくる

最後に、若桜町民の皆様のご健勝とますますのご発展をお祈りしています。



未生林

意見・写真をお寄せください

メール gikai@town.wakasa.tottori.jp

FAX 0858(82)2222

議長	川上 守
議員	青木 一憲
委員長	山本 安雄
副委員長	岡田 一弥
委員	小林 誠
委員	山根 政彦

議会だより調査特別委員会

はじめじめした梅雨の季節も去り、毎日蒸し暑い日々が続いています。体調管理にはくれぐれも気を付けて頂きたいと思います。

議会だより調査特別委員長という大役を仰せつかり、よりよい広報誌になるように努めていきたいと思っています。町民の皆さんに分かりやすく情報発信すること、コミュニケーションの場が多く持てるようになると思います。皆様の貴重な意見をいただきながら、分かりやすく、読みやすい広報誌になるよう作成していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。